

明治大学大学院 政治経済学研究科 特別講義

多様なLGBT「当事者」と多様な抑圧／抵抗

講師：砂川 秀樹（明治学院大学国際平和研究所研究員）

2021年10月22日（金） 15：20～17：00

ZOOMによるオンライン開催

学内・学外を問わず参加可能です **【事前申込必須】**
参加をご希望の方はQRコードからお申込みください。



【事前申込期限：10月20日（水）9：00まで】

お申込みいただいた方には別途、Zoomのミーティング情報をお知らせいたします。

【講義概要】

2010年代からLGBTの顕在化が進み、企業サービス、行政施策の対象に含まれるようになってきた。その変化の土台には、様々な領域で積み重ねられてきた活動がある。また、1990年代、バーなどでコミュニティ感が形成されたことも見逃せない。その反面、バーを「隠れ家」として使ってきた層からは、顕在化をはかるLGBT運動への反発も聞かれる。その結果生まれる対立について、多様な抑圧／抵抗として整理し論じる。

【講師：砂川秀樹（すながわ・ひでき）】

文化人類学者。1990年よりHIV/AIDSに関する支援活動や研究に従事し、2000年代には東京のLGBTのパレードを牽引した。また同時に、ゲイバーや新宿二丁目のゲイコミュニティに関する研究を行い、博士号を取得。2011年には、故郷沖縄に帰り、2013年、沖縄初のプライドイベント「ピンクドット沖縄」を実現した。現在は東京に戻り、性的マイノリティのセックスワークに関する調査にたずさわっている。著書に、『カミングアウト』、『新宿二丁目の文化人類学』など。



明治大学大学院

【お問い合わせ先】明治大学大学院事務室
☎：03-3296-4150（政治経済学研究科担当）
✉：seikeiken@mics.meiji.ac.jp